

問5 生活に必要な情報の入手媒体

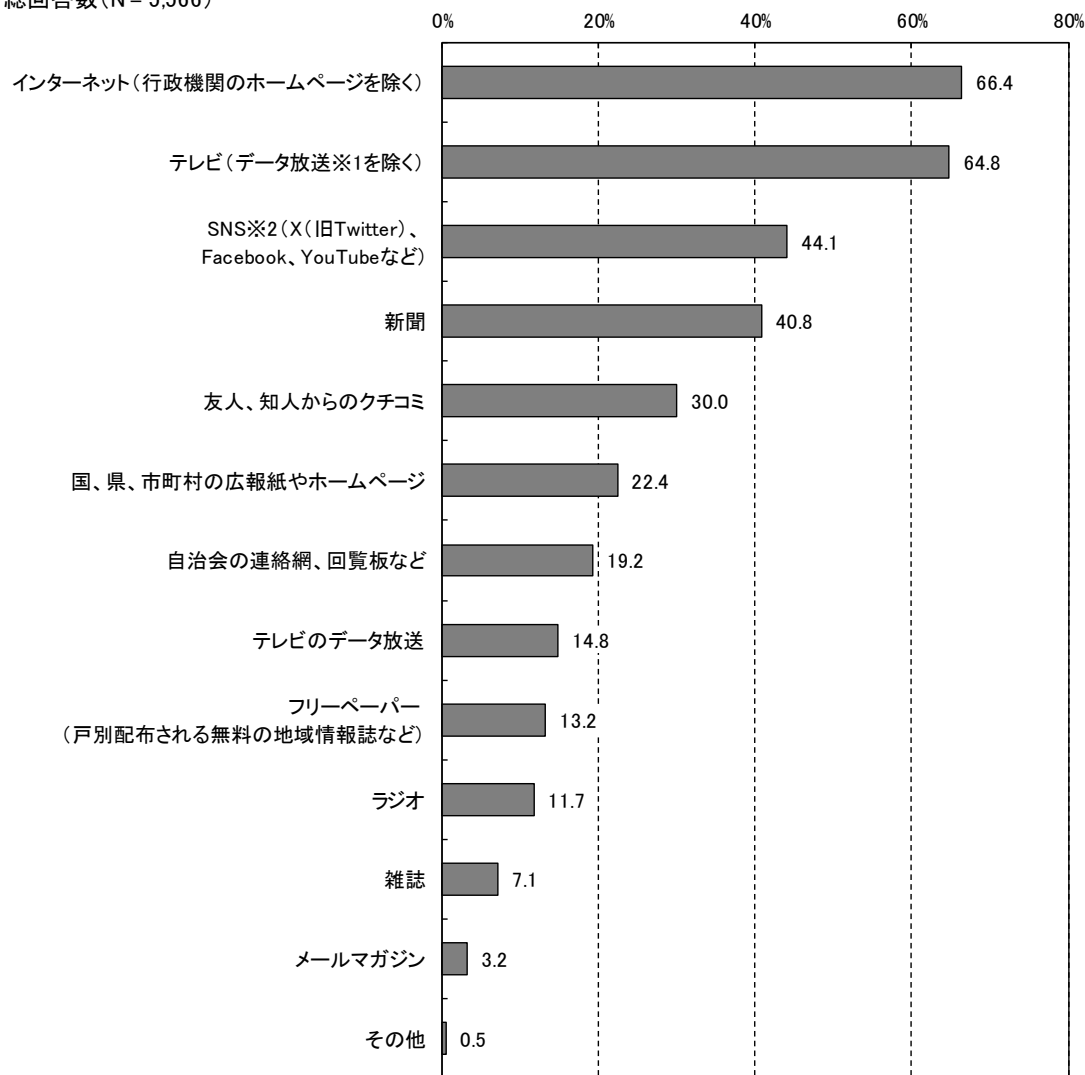
問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。（いくつでも）

全体（図5-1）でみると、「インターネット（行政機関のホームページを除く）」が66.4%と最も高く、次いで「テレビ（データ放送を除く）」（64.8%）、「SNS（X（旧Twitter）、Facebook、YouTubeなど）」（44.1%）の順となっている。

図5-1 生活に必要な情報の入手媒体

回答者数（n=1,644）

総回答数（N=5,566）



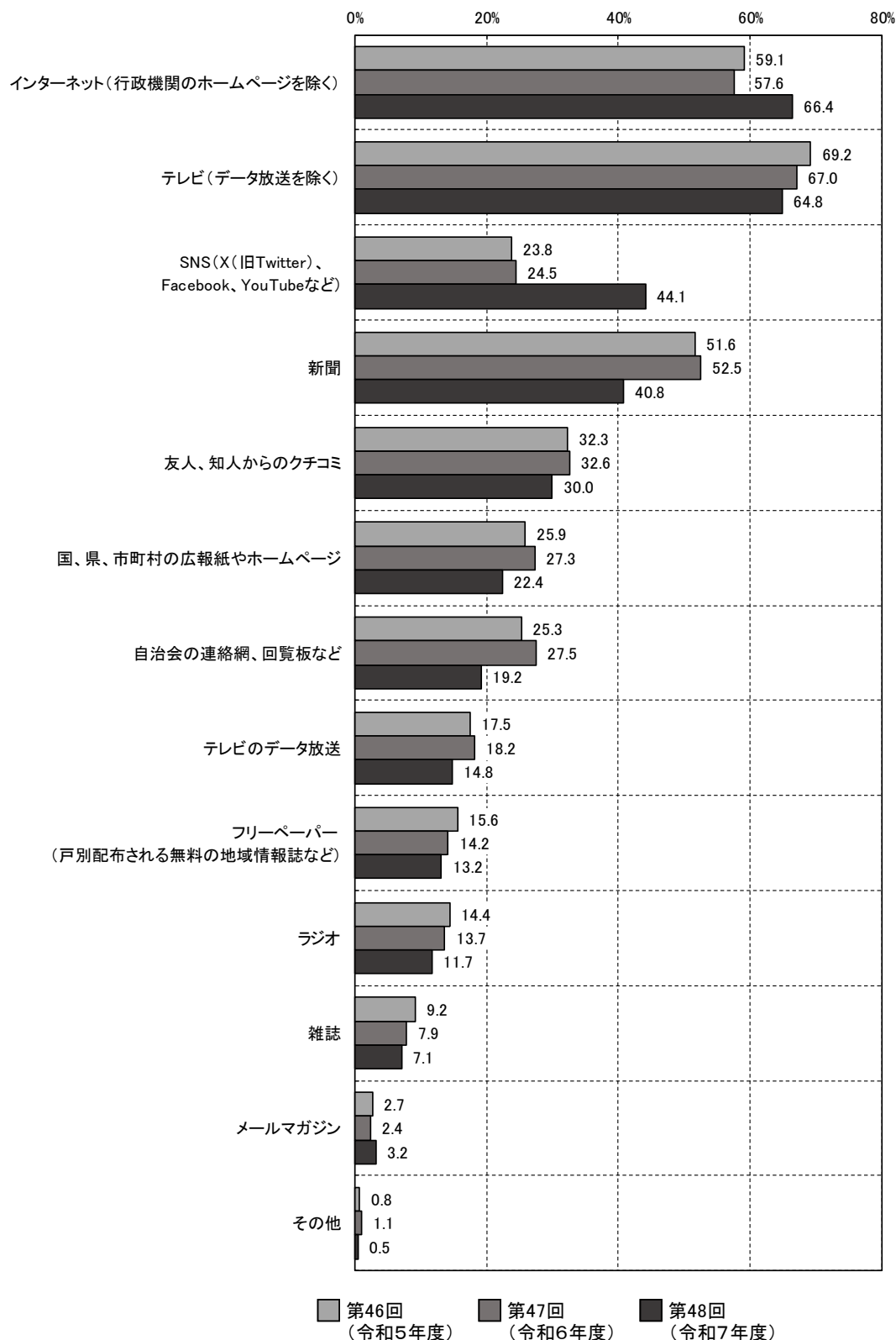
※1 データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※2 SNS: ソーシャル・ネットワーキング・サービス

※ 本問における選択肢「SNS（X（旧Twitter）、Facebook、YouTube など）」は前回調査「フェイスブック、X（旧Twitter）などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」より変更

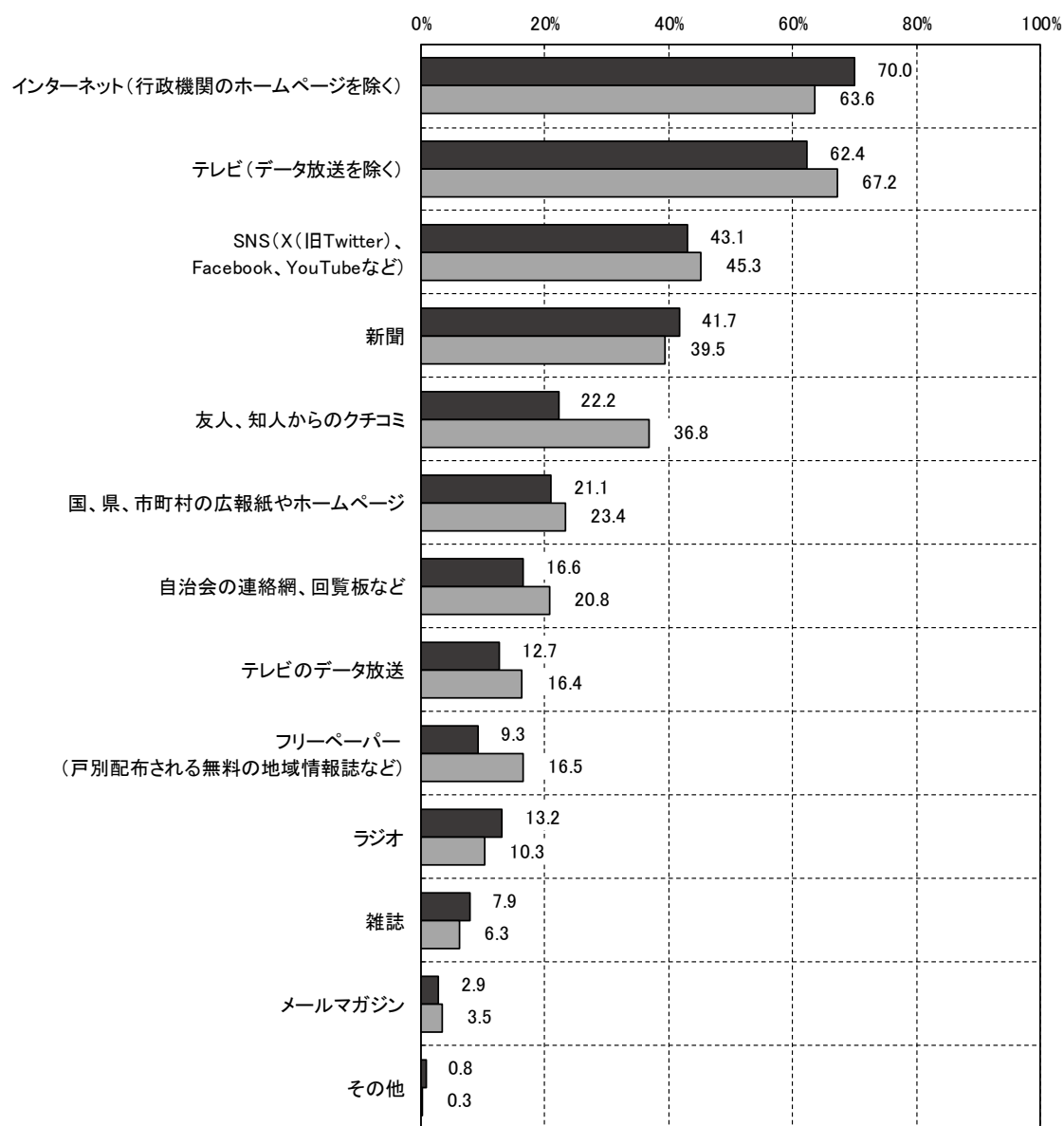
前々回・前回比較（図 5-2）でみると、前回に比べて、「SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、YouTube など）」は 19.6 ポイント、「インターネット（行政機関のホームページを除く）」は 8.8 ポイント、それぞれ増加している。一方、「新聞」は前回に比べて 11.7 ポイント減少している。また、「テレビ（データ放送を除く）」が年々低くなっている。

図 5-2 【前々回・前回比較】生活に必要な情報の入手媒体



性別（図5-3）でみると、男性では「インターネット（行政機関のホームページを除く）」（70.0%）、女性では「テレビ（データ放送を除く）」（67.2%）が最も高くなっている。また、「インターネット（行政機関のホームページを除く）」では男性が女性より6.4ポイント、「友人、知人からのクチコミ」では女性が男性より14.6ポイント高くなっている。

図 5-3 【性別】 生活に必要な情報の入手媒体

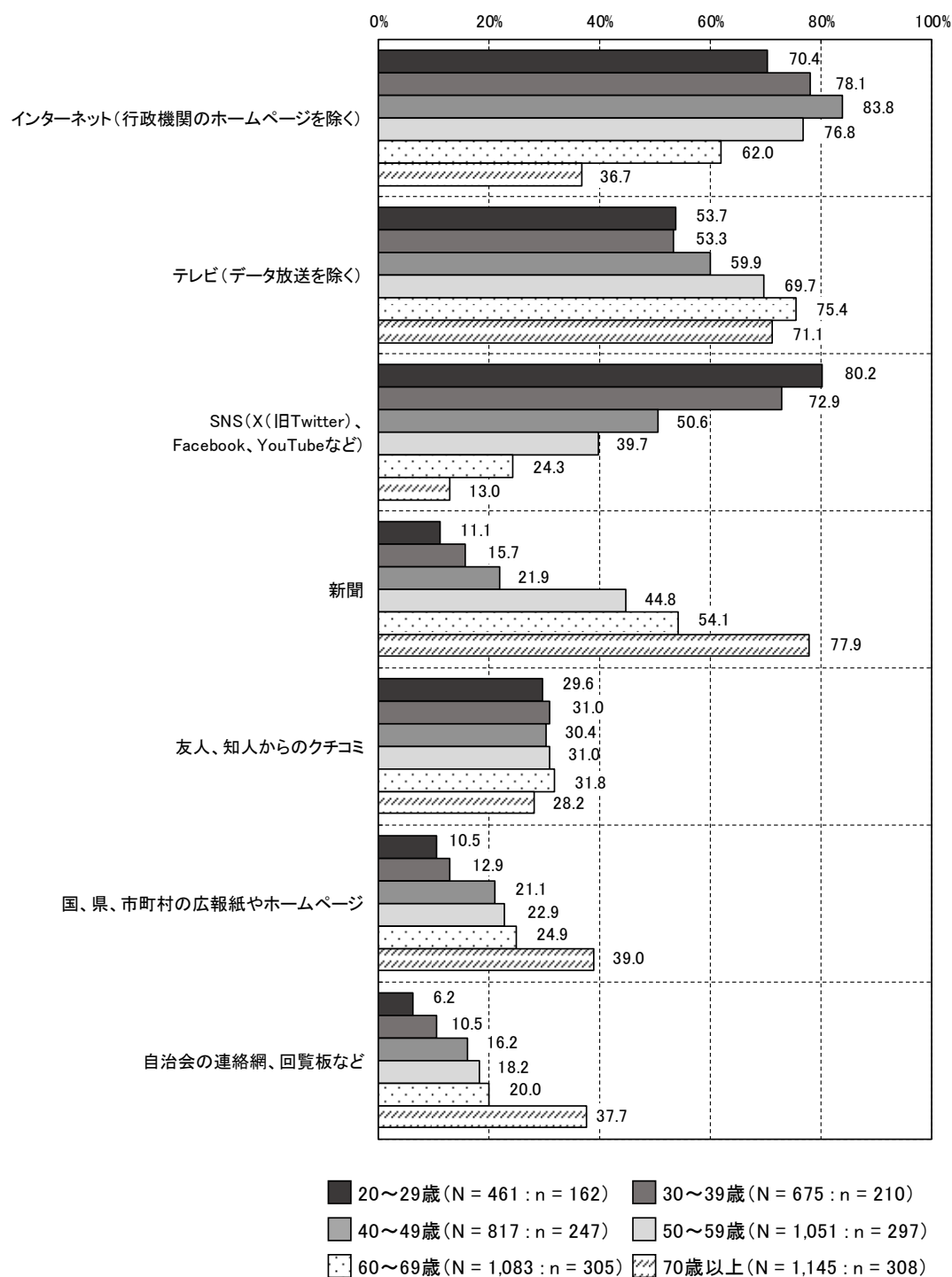


■ 男性(N = 2,380 : n = 734) □ 女性(N = 3,112 : n = 889)

※ N=総回答数 n=回答者数

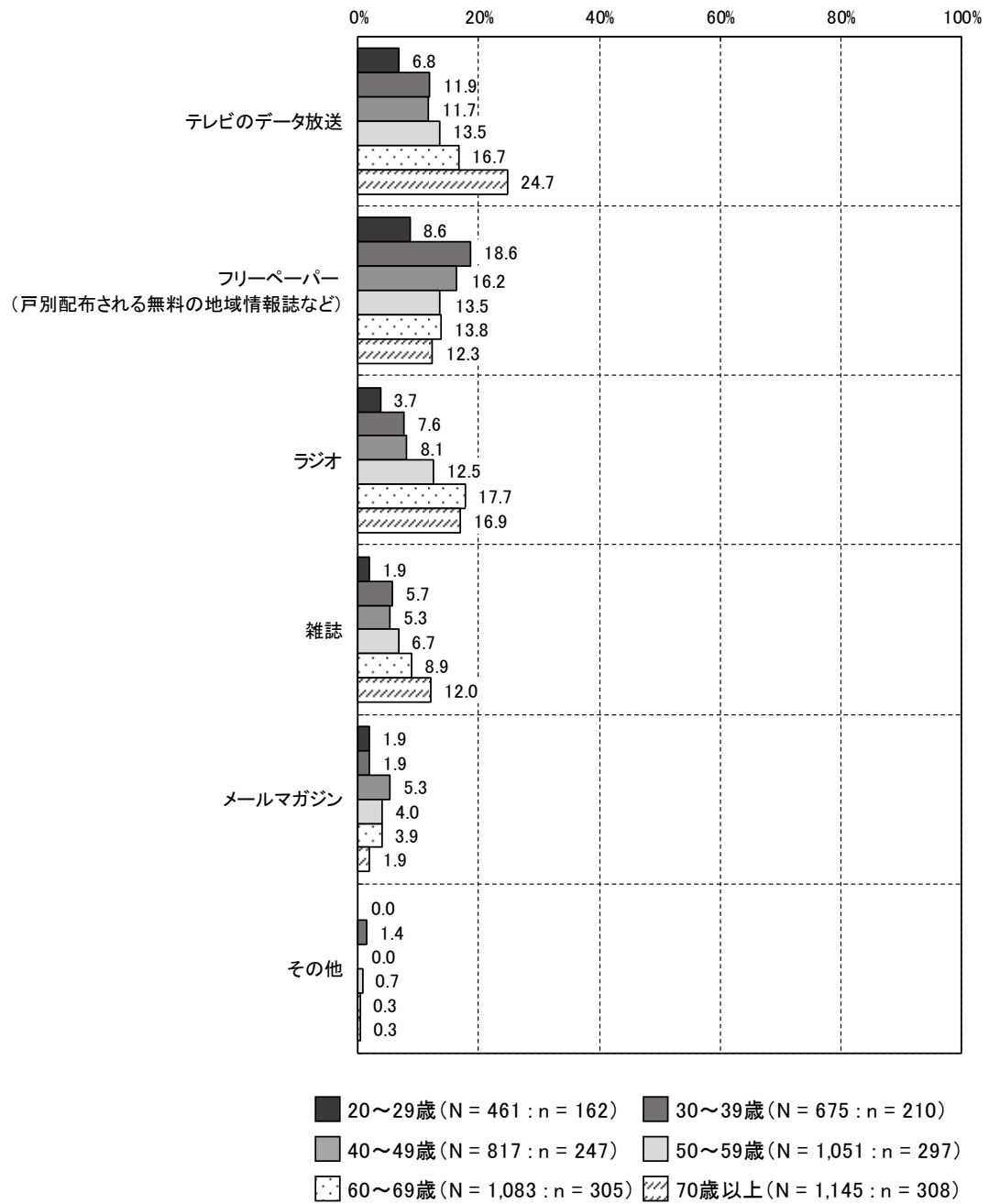
年代別（図 5-4）でみると、20 歳代では「SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、YouTube など）」、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「インターネット（行政機関のホームページを除く）」、60 歳代では「テレビ（データ放送を除く）」、70 歳以上では「新聞」が最も高くなっている。また、「新聞」、「国、県、市町村の広報紙やホームページ」、「自治会の連絡網、回覧板など」は年代が上がるにつれて高くなっている。一方で、「SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、YouTube など）」は年代が下がるにつれて高くなっている。

図 5-4 【年代別】生活に必要な情報の入手媒体



※ N＝総回答数 n＝回答者数

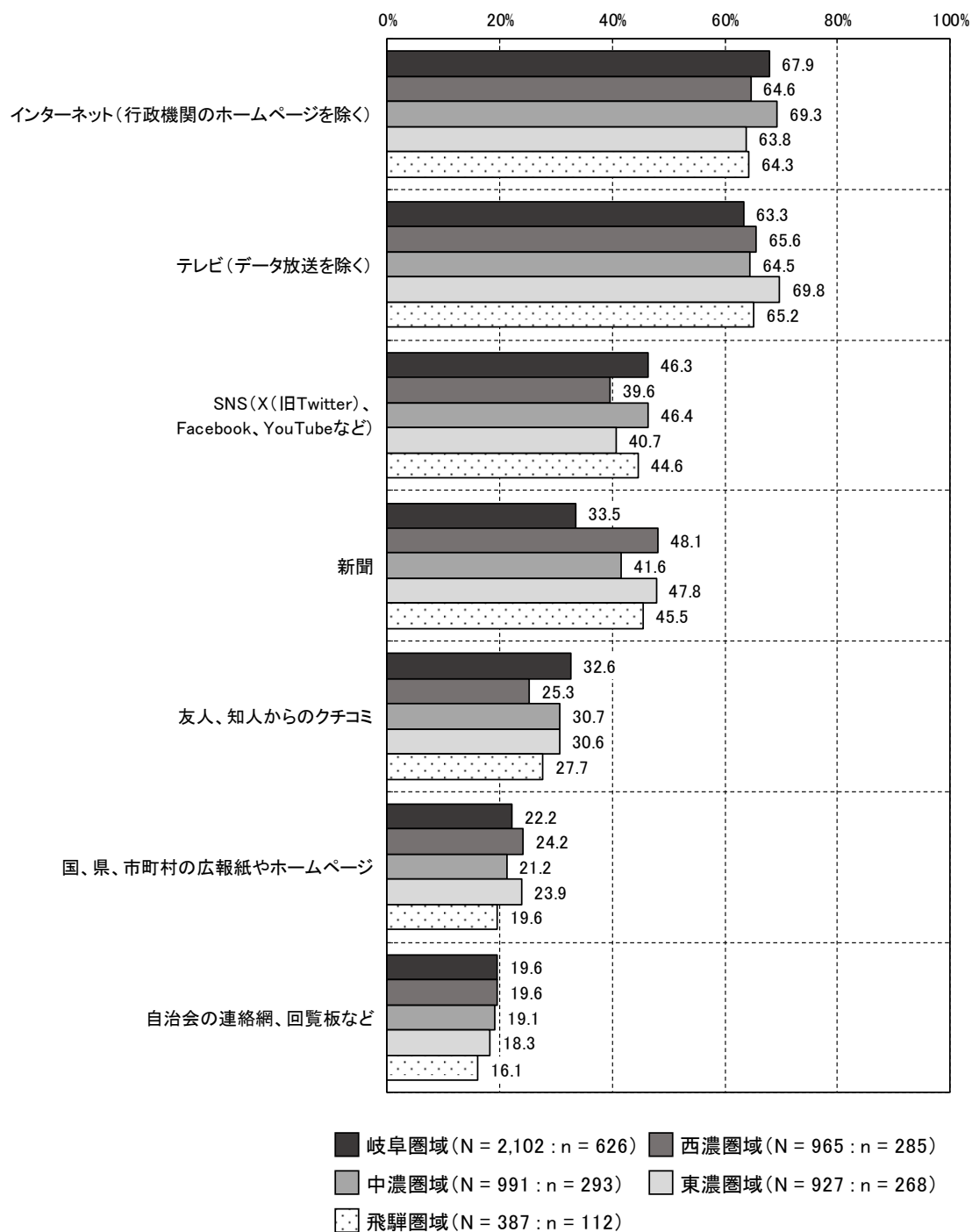
図 5-4 【年代別】生活に必要な情報の入手媒体（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

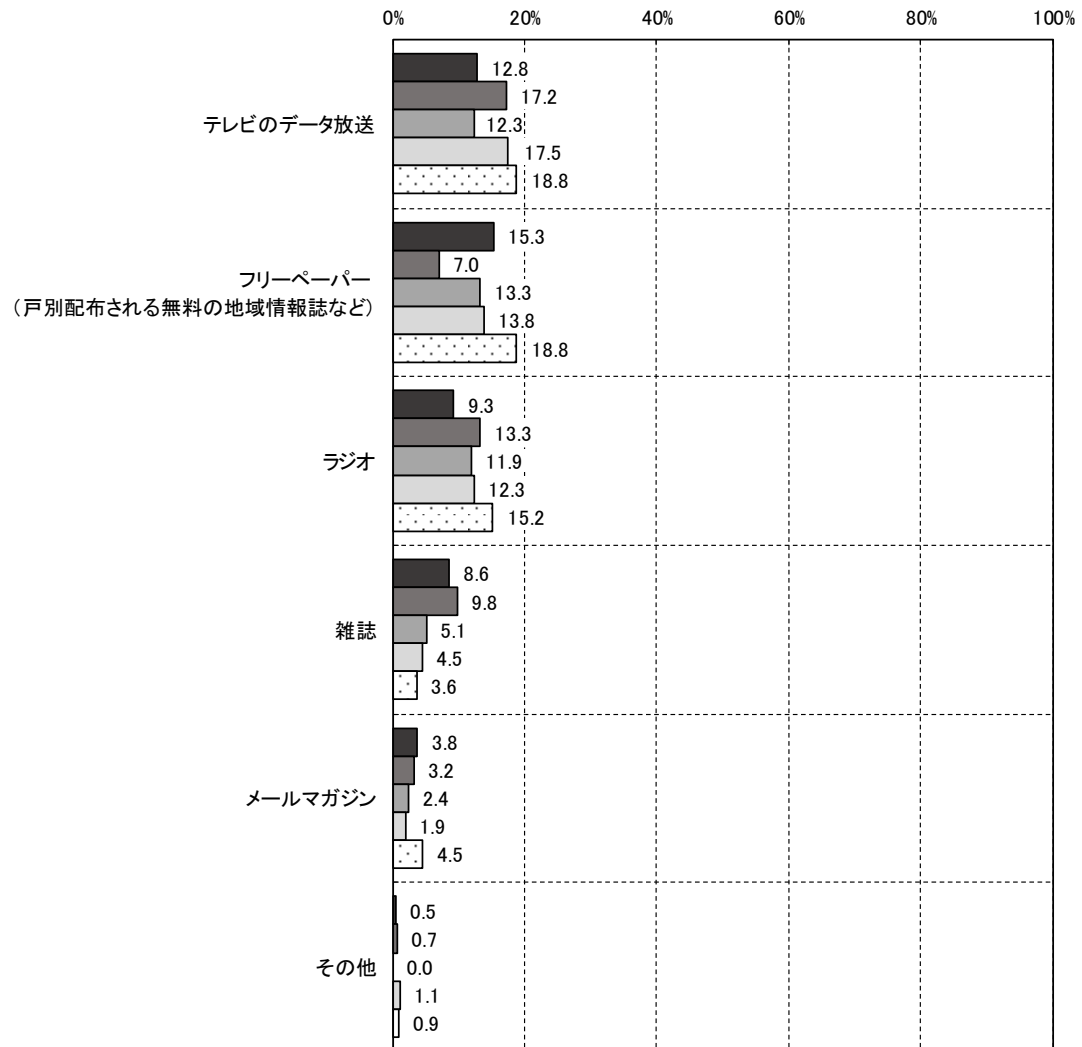
居住圏域別（図 5-5）でみると、岐阜圏域、中濃圏域では「インターネット（行政機関のホームページを除く）」が最も高く、西濃圏域、東濃圏域、飛騨圏域では「テレビ（データ放送を除く）」が最も高くなっている。

図 5-5 【居住圏域別】生活に必要な情報の入手媒体



※ N=総回答数 n=回答者数

図 5-5 【居住圏域別】 生活に必要な情報の入手媒体 （続き）



■ 岐阜圏域 (N = 2,102 : n = 626) ■ 西濃圏域 (N = 965 : n = 285)
 ■ 中濃圏域 (N = 991 : n = 293) ■ 東濃圏域 (N = 927 : n = 268)
 ■ 飛騨圏域 (N = 387 : n = 112)

※ N=総回答数 n=回答者数